

“Medical Imaging Technology”投稿規定

[2011年5月10日改定 日本医用画像工学会(JAMIT)編集委員会]

1. 電子ジャーナルでの留意点

- 1) MIT 誌の2010年9月号 (Vol. 28, No. 4) からの J-STAGE による完全電子化に伴い、掲載される論文・記事等は Web 上で公開され、1, 3, 5, 9, 11月に更新される。論文の発効日は電子ジャーナルの公開日となる。
- 2) 電子ジャーナルでは、すべての論文・記事について高精細多次元・動画を電子付録として受け付け、査読に含める。電子付録は論文本体と同様公開される。電子付録の種類、ファイル形式等については執筆要領で定める。
- 3) 本学会大会予稿集 (Supplement:CD-ROM) はこれまでどおり大会時に参加者に配布され、その投稿規定は別に定められる。

2. 原稿の種類

原稿は、医用画像工学に関するもので、下記の項目に分類する。〈 〉内は規定頁 (ページ) 数を表す。ここで頁とは組み上がりの頁を意味し、そのサイズは従来どおりB5版である。

- 1) 研究〈5〉：未発表の部分を含み、目的・方法・結論の明確な論文。「研究」論文は、
 - (A) 新しい医用工学的手法の研究に関する論文、および
 - (B) 臨床に役立つ医用画像システムの設計・開発に関する論文に分類される。著者は、投稿の際に、いずれの論文であるかを申告する。
- 2) 研究速報〈3〉：未発表の部分を含み、速報する意義があると著者が判断する論文。「研究速報」論文は、
 - (A) 新しい医用工学的手法の研究に関する論文、および
 - (B) 臨床に役立つ医用画像システムの設計・開発に関する論文に分類される。著者は、投稿の際に、いずれの論文であるかを申告する。
- 3) 技術報告〈5〉：未発表の部分を含む技術 (ソフトウェアを含む) の発表。
- 4) 特集論文〈6〉：編集委員会が決めた特集企画に基づいて執筆された依頼論文。
- 5) 総説〈5〉：あるテーマに関する総合的な知見。
- 6) 資料〈5〉：研究・技術に関する資料・調査等。
- 7) 解説・紹介〈5〉：ある事項・知識 (ソフトウェアを含む) の解説・紹介。
- 8) 報告・意見〈1〉：視察・会議・留学等の報告。意見および本誌掲載文に対する批評。
- 9) 講座〈4〉：編集委員会が決めたテーマに基づいて執筆された依頼論文。
- 10) その他：研究室訪問など編集委員会が必要と認めたもの。

3. 投稿論文の採否

投稿原稿の採否・掲載順序は、編集委員会が査読に基づき決定する。原稿の内容は著者の責任とする。

4. 投稿原稿の掲載料、別刷代

- 1) 著者の中に JAMIT 会員を含む場合は、1編あたりの投稿料は20,000円とし、含まない場

合は組み上がり 1 頁あたり 20,000 円とする (英文抄録の校閲料を含む)。

ただし、(1) Wordまたはpdfでの投稿であること。

(2) 組み上がり頁数が規定以内であること。

(3) 最終原稿をWordあるいはTeXで提供すること。

2) 著者の中にJAMIT会員を含む場合、超過頁掲載料は1頁あたり15,000円とする。

3) 最終原稿がWord やTeXでない場合、JAMIT会員の有無に関係なく1頁あたり20,000円とする。

4) ファーストオーサには掲載論文のpdfのCD-R (メールでの送信も可) を提供する。ただし、印刷物での別刷を希望の場合は別途料金を申し受ける。

5) 電子付録については当面、課金の対象としない。

6) ジャーナルの電子化に伴い、カラー原稿に対する別料金は発生しない。ただし、カラーでの別刷を申し込まれる場合は上記4)に加え、カラー頁分相当の追加料金を申し受ける。

5. 依頼原稿の掲載料、別刷り代

依頼原稿の掲載料、別刷り代については「4. 投稿原稿の掲載料、別刷り代」に準じる。ただし規定頁以内あるいは依頼した頁数上限以内であれば掲載料を不要とする。

6. 著作権

本誌に掲載された論文および電子付録の画像等を含め著作権は本学会に帰属するものとする。著作権の移譲は所定の様式に必要 事項を記入の上、編集部へ送付していただく。様式は以下のWebページからダウンロードできる。

<http://www.jamit.jp/copyright.pdf>

7. 倫理面への配慮

「学会倫理規定 7. 行動規範」(<http://www.jamit.jp/outline/agreement/ethics>) を遵守すること。また、ヒト試料の使用に関しては、組織内倫理委員会等に諮ったことを明記して「ヘルシンキ宣言http://www.med.or.jp/wma/helsinki02_j.html」の倫理的原則等に則った処理がなされていることが分かるようにされたい。

論文投稿に関する倫理ガイドライン

(2007年3月23日)

本論文誌に論文投稿をする場合、非学会員であっても別掲の本学会の倫理規定を遵守し、特に下記の項目について十分な注意を払った上で投稿してください。

1. データ改竄・捏造に関する注意

論文投稿のために研究データを改竄・捏造することは、著者のみならず、研究分野全体、ひいては科学技術の信頼性に関わる重大な問題を引き起こします。絶対にしてはなりません。

2. 剽窃に関する注意

慣用的に使用される表現などを除き、他の論文や著作物に独自性が認められる表現を出典の記載なしに自らの論文に使用することは剽窃に当たります。執筆の際に十分注意してください。

3. 論文著者に関する注意

研究成果に一定の学術的な貢献があった人物は必ず著者に含めるべきですが、全体として多すぎないように留意してください。また、学術的な貢献のない場合は著者として含めないでください。直接的あるいは学術的ではないが一定の貢献をした人物については、謝辞において記載するのが一般的です。

4. 二重投稿に関する注意

記述した言語に関わらず、他の査読付き論文誌に掲載された論文と同一内容のものを本論文誌に投稿することはできません。また、本論文誌へ投稿した論文と同内容のものを同時に他の査読付き論文誌への投稿に使用することもできません。ただし、一部に同内容を含むが手法の改良や新実験データの追加など、発展的あるいは新しい内容が追加されていてその部分の新規性を主張している場合は、この限りではありません。

掲載された論文の著者自身によるネット等への公開に関して

編集委員会では、掲載論文を著者自身が個人のホームページなどを利用してインターネット上で公開することに関して、現状では以下のように定めていますので遵守してください。

1. 掲載論文そのもののpdf をホームページにおくことは禁止します。
2. 掲載論文以外のもの（たとえば、投稿時の論文、プレプリントなど）を、ホームページにおくことは妨げません。
3. JAMIT のホームページにおかれている MIT 誌の web 頁への link などは自由です。

執筆要領[2010年9月1日改定 日本医用画像工学会(JAMIT)編集委員会]

1. 執筆上の注意

- 1) 原稿は和文または英文とし、テンプレート (MS-Word 用 <http://www.jamit.jp/template-j.doc>) に従って執筆する。1頁は1600字相当で、TeX の場合はWordのテンプレートに準じること。
- 2) 原稿の記述は希望する原稿の種類、題名、著者氏名、所属、和文要旨(400字以内)、和文キーワード(5語以内)、英文標題、ローマ字著者氏名、英文所属、英文要旨(200語以内)、英文キーワード(英文5語以内)、本文、文献、図の説明、著者紹介(150字以内、顔写真付)とする。ただし、紹介、報告、意見については、和・英文要旨は省略でき、

研究速報に著者紹介は不要とする。

3) 上記とは別に、希望する原稿の種類、題名、連絡者および連絡先、メールアドレス、電話番号、希望する有料別刷部数を明記した表紙をつける。

4) 引用文献の記載方法。

(a) 文献は [1] , [2] , [3] にて文中に引用された順に記載する。

(b) 著者名は3名までとし、以下はet alまたは、他とする。

(c) 雑誌は以下の例に従う。

[例] Kudo H, Rodet T, Noo F et al: Exact and approximate algorithms for helical cone-beam CT. *Phy Med Biol* **49**: 13-31, 2004

[例] 増谷佳孝, 大友 邦, 林 直人, 他: MR 拡散テンソル画像の解析による脳白質神経線維追跡: 追跡の信頼性を考慮した選択的Tractography. *Med Imag Tech* **20**: 584-592, 2002

(d) 著書は和・英文ともに、著者名、書名、巻数(版数)、発行社名、発行地名、発行年(西暦)、頁の順に記載し、分担執筆の場合、分担者が明記してある場合はこれを記載のこと。

[例] 岸上義彦, 橋本良夫: 画像解析と細胞診. 辻内順平編: 応用画像解析, 共立出版, 東京, 1981, pp 198-210

[例] Muehllehner G: Scintillation Camera Collimators. In: Nucelman S, Patton DD eds. *Imaging for Medicine Vol. 1*. Plenum Press, New York & London 1980, pp 77-87

(e) 英文の場合、全角文字が含まれていないことを確認する。1文字でも含まれていた場合、英語版サイトには正しく表示されず『In Japanese』となるので十分注意のこと。

5) 図・写真も文章と同様、テンプレートに埋め込む。ただし、埋め込んだものは十分鮮明になるように準備し、写真は300dpi程度が望ましい。

6) 印刷の校正は初校に限り著者校正とする。この場合、著者は校正に責任を持ち、かつ至急手配すること。文章、図、表の削除、挿入等は許されない。

2. 電子付録

論文・記事等に付加される電子付録は以下に従う。

1) 著作権の保護

著者は著作権保護の立場から、公開する動画等の隅にテンプレートマーク

[©JAMIT-Author's name-MIT]を明記すること。(例 ; ©JAMIT-Y. Masuda-MIT または ©JAMIT-Yoshitada. Masuda-MIT)

2) 電子付録のファイル種別と形式

動画像、静止画像、文書について、原則として以下の形式を受け付ける。

(a) 動画像 avi, mpg (MPEG), mov (QuickTime)

(b) 静止画像 bmp, jpg (JPEG), tiff

(c) 文書 pdf, html, htm

これ以外の形式を希望される場合は編集部 (mit-edit@jamit.jp) まで連絡されたい。
なお、静止画像、文書については、原則として容量や表示精度の面から、本文中より、電子付録で扱うことが望ましいものを対象とされたい。

3) ファイル数と容量

1 論文につき5ファイルまでとし、容量の上限は1 論文10MBとする。

ただし、閲覧者のPC環境等を考慮すると1 ファイル（動画像など）を5 MB以下にするのが望ましい。

3. 使用文字種

J-Stage 上で論文が公開されている関係から、下記に示すような文字は一部のコンピュータでは表示されないか、文字化けするなどの不具合が生じ、コンピュータの機種に依存するため、本文中で使用しないこと。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ I II III IV V VI VII VIII

IX X ミリ キロ セン メー グラ トン アー ヘク リッ ワツ カロ ドル セン パー ミリ ベー mm cm km mg kg cc

m² " // No. KK.Tel ㊤㊦㊧㊨(株) (有) (代) 明治大正昭和平成 ≡ ∫ ∫ ∑ √ ⊥

∠ ⊥ ∆ ∴ ∩ ∪ _

4. 原稿、電子付録の送付

1) 投稿原稿を電子メール、Wordまたはpdfにて e-mail: mit-edit@jamit.jpへ送付する。

2) 電子付録の各メディアはその容量が2 MB 以下であれば、上記1) により送付する。

2MB を超える場合は、CD-R により下記に送付する。

〒110-0016 東京都台東区台東 2-31-3 アサヒビル

美津濃印刷（株）内 MIT 誌編集部

TEL 03-3835-0870 FAX 03-3835-0925 e-mail: mit-edit@jamit.jp